

## サービスコネクター SET No.2/1

|       |                     |                     |
|-------|---------------------|---------------------|
| 適合車種  | ホンダ 4P サービスチェックカプラー | ホンダ 6P サービスチェックカプラー |
| 商品コード | 764-9011100         | 764-9011200         |

●この度はキタコ製品をお買い求め頂き誠に有り難うございます。説明文を良く理解して正しい取扱を行って下さい。

### ■製品、装着についての注意

- 道路運搬車輌法及び、道路交通法に従い、法定内の運転を心掛けて下さい。事故、道路交通法違反は、全て運転手本人の責任とし、当社は一切の責任を負いませんので御了承下さい。
- 組み立てミス、セッティング不良等による事故、パーツの破損等については全て本人の責任とし、当社は一切の責任を負いませんので御了承下さい。
- 組み付けミス及び、セッティング不良等によるエンジンその他関連パーツの破損、それに伴う事故等については全て運転者本人の責任とし当社は一切の責任を負いませんのでご了承下さい。
- 組み付け及び、セッティング作業は必ず整備士資格のある方が行って下さい。また周辺部品の役割等が理解できない方は必ず、専門店の担当者又は、当社までご相談下さい。
- 説明書に記載されていない改造や仕様変更等は絶対にしないで下さい。故障、破損の原因にもなります。  
また精密機械ですので、強い衝撃等を与えた後、分解したりしないで下さい。
- 取付の際、必ず車種ごとのメーカー・サービスマニュアルと合わせて取付作業を行って下さい。
- スパークチェックの為、シリコンダクトでプラグをスパークさせる行為は、絶対に行わないで下さい。引火し、爆発しますのでご注意下さい。
- お気付きの点や、異常を発見した場合は直ちに走行を停止して、当社までご連絡下さい。

### 製品概要

MCS や汎用スキャンツールを使用しない場合、PGM FI などの診断コード (DTC\*) の読み出しや消去、スロットル開度センサーのリセット作業をカプラーで行うサービスツールです。

\*DTC = 診断トラブルコード / Diagnostic Trouble Codes

- ・故障診断コード (DTC) の読み出し / 消去
- ・エンジンコントローラー (ECM) のリセット
- ・スロットル開度 (TP) のリセット

| パッキングリスト    |             | 4P | 6P |                     |
|-------------|-------------|----|----|---------------------|
| パーツ名        | 商品コード       | 個数 |    | 備考                  |
| ジャンパハーネス    | 764-9011001 | 1  | 1  | スロットル開度センサーのリセットに使用 |
| サービスコネクタ 4P | 764-9011002 | 1  | -  |                     |
| サービスコネクタ 6P | 764-9011003 | -  | 1  |                     |

### 製品の保証について

- 製造には万全を期しておりますが、万一当社の製造上の原因による品質不良がありました場合は、同様、同数の新しい製品とお取り替え又は、無償修理致します。但しそれに伴う故障、破損、事故等についてのパーツの代金、修理保証、整備費用等の代償はご容赦下さい。
- 当社製品の保証期間は商品購入後から 6 ヶ月です。



250626  
〒577-0015  
東大阪市長田3-8-13  
TEL.06-6783-5311(代)  
FAX.06-6782-0740

### 故障診断コード (DTC) の読み出し / 消去、エンジンコントローラー (ECM)/ スロットル開度 (TP) のリセット手順

#### ▼ 保存されている故障診断 DTC\* の読み出しと消去

\*DTC = 診断トラブルコード / Diagnostic Trouble Codes  
車種により場所が異なりますので、詳しくはサービスマニュアルを参照して下さい。  
\*DLC = Data Link Connector

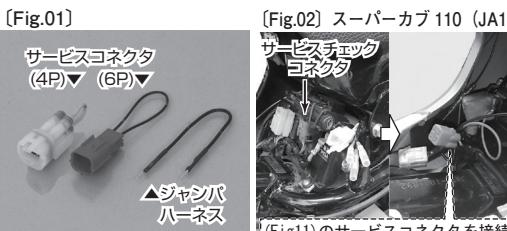
- ※ ECM に DTC\* が保存されていない状態で、この作業を行って下さい。DTC が保存されている状態だとリセットはできません。保存されている場合は DTC の消去を行ってください。(詳細は保存された DTC の読み出しと消去手順を参照)

#### ● (DTC) 診断データの読み出し

- 1 メインスイッチを "OFF" にする。(キルスイッチが "OFF" の状態)
- 2 サービスチェックカプラー位置を確認の上、サービスチェック 4P または 6P(赤)カプラーから、ダミーカプラーを取り外します。[Fig.02] はスーパーカブ 110 (JA10)]
- 3 付属のサービスコネクタ (SCS ショート) を使用して (DLC 端子) サービスチェック 4P または 6P(赤)カプラーに接続して下さい。 [Fig.01/02]
- 4 メインスイッチを ON にする。
- 5 PGM-FI 警告灯の点滅を読み、故障診断表を参照する。

- ① ECM のメモリ内に格納された過去の問題がある場合、PGM-FI 警告灯は 0.3 秒間点灯後、DTC の点滅を開始する。(診断コードの詳細はサービスマニュアルを参照)
- ① PGM-FI 警告灯が点灯したままの場合は、DTC は保存されていません。

[Fig.01]



[Fig.02]



#### ● 保存された (DTC) 診断データの消去

※ 通常この手順は不要ですが、診断データ (エラー等) が保持されている場合は実施してください。

- 1 サービスコネクターをサービスチェックカプラー (DLC) に接続する。
- 2 メインスイッチを "ON" にする。
- 3 DLC からのサービスカプラーを取り外す。
- 4 PGM-FI 警告灯が 5 秒間点灯している間にサービスコネクタを DLC に再度接続する。

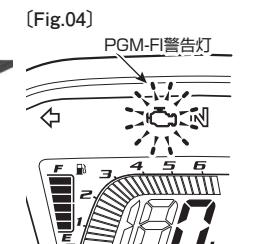
- ① PGM-FI 警告灯が消灯して点滅を始めたら、DTC は消去されている。 [成功パターン]

- 5 メインキーをオフにします。

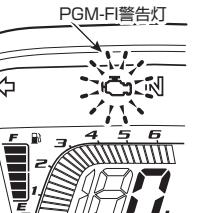
- ① PGM-FI 警告灯が点灯している間にサービスコネクタを再接続させる必要がある。そうでないと、PGM-FI 警告灯は点滅を開始しない。この場合メインスイッチ OFF で、もう一度やり直すこと。

- ① PGM-FI 警告灯が点滅する前にメインスイッチを OFF にした場合、DTC が消去されないので注意すること。

[Fig.03]

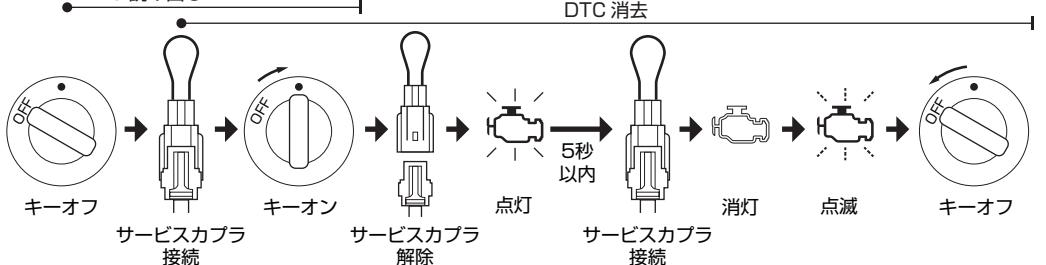


[Fig.04]



### 故障診断コード (DTC) の確認 / 消去

#### DTC 読み出し



## サービスコネクター SET No.2/2

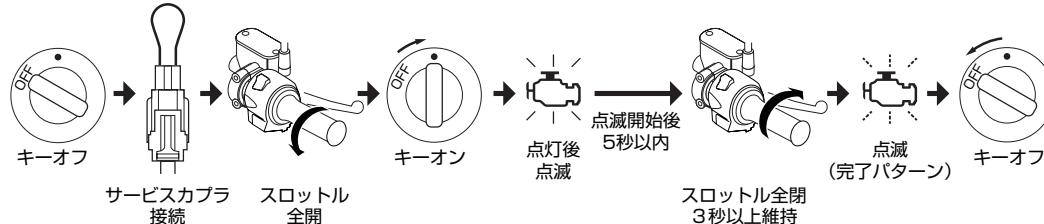
|       |                    |                    |
|-------|--------------------|--------------------|
| 適合車種  | ホンダ 4P サービスチェックカプラ | ホンダ 6P サービスチェックカプラ |
| 商品コード | 764-9011100        | 764-9011200        |

### 故障診断コード(DTC)の読み出し / 消去、エンジンコントロールユニット(ECM)/スロットル開度(TP)のリセット手順

#### ▼ エンジンコントロールユニット(ECM)の初期化

- 1 メインスイッチを "OFF" にして下さい。
- 2 各車種のサービスマニュアルでサービスチェックカプラ位置を確認の上、サービスチェック4Pまたは6Pカプラから、ダミーカプラを取り外します。付属のサービスコネクタをサービスチェック4Pまたは6Pカプラに接続して下さい。
- 3 スロットルを完全に開けた状態にし、その状態を維持してください。(キルスイッチが" OFF "の状態)
- 4 メインスイッチを ON にし、PGM-FI 警告灯を確認する。
- ① PGM-FI 警告灯が点灯後、短く速い点滅を開始します。
- 5 PGM-FI 警告灯の点滅開始後、5秒以内にスロットルを閉じ、その状態を3秒以上維持してください。
- ① PGM-FI 警告灯が長い間隔で点滅し、(1回)繰り返します。〔完了パターン〕(各車種のサービスマニュアルまたは共通サービスマニュアル参照)
- 6 メインスイッチを "OFF" にして下さい。

#### エンジンコントロールユニット(ECM)初期化



▼ スロットル開度センサーのリセット スロットルボディ取り付け後など、下記のセンサーのリセット作業を行ってください。

\* 車種によりジャンパハーネスを使用する場所が異なりますので、詳しくはサービスマニュアルを参照して下さい。

\* ECM に DTC\* が保存されていない状態で、この作業を行って下さい。DTC が保存されている状態だとリセットはできません。保存されている場合は DTC の消去を行って下さい。(詳細は保存された DTC の消去手順を参照)

\*DTC = 診断トラブルコード/Diagnostic Trouble Codes  
\*DLC = Data Link Connector

- 1 メインスイッチを "OFF" にしてから、サービスチェックカプラ (DLC) 位置を確認の上、DLC の4P または6P (赤) カプラからダミーカプラを取り外します。〔Fig.01 / Fig.02〕〔Fig.01〕〔Fig.02〕はスーパーカブ 110 (JA10) 〕

- 2 付属のサービスコネクタ (SCS ショート) を使用して DLC 端子に接続する 〔Fig.02〕

- 3 油温(EOT)センサ (または水温センサ) コネクタを取り外し、付属の「ジャンパハーネス」を接続して下さい。〔Fig.03〕

- 4 メインスイッチを "ON" にして下さい。(キルスイッチが" OFF "の状態)

- ① PGM-FI 警告灯〔Fig.04〕が「リセット受信パターン」の点滅を開始

- 5 10秒以内に「ジャンパハーネス」を油温センサ (または水温センサ) コネクタカプラから取り外します。

- ① PGM-FI 警告灯が先程より短い間隔 (0.3秒) の点滅を始めれば、リセットが完了。

\* 10秒以上経過した場合および手順が正しくない場合は、PGM-FI 警告灯は点灯状態となる。〔リセット失敗〕再度、リセット作業を最初からやり直す。

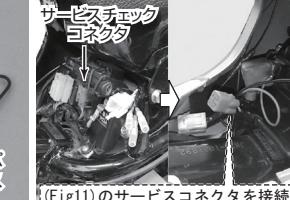
- 6 メインスイッチを "OFF" にして下さい。

- 7 油温センサ (または水温センサ) コネクタを接続し、DLC からサービスコネクタを取り外してください。

〔Fig.01〕



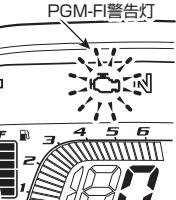
〔Fig.02〕



〔Fig.03〕



〔Fig.04〕



#### スロットル開度センサーのリセット手順

